

会 議 録

会議の名称	平成30年度 行田市観光委員会
開催日時	平成30年11月15日(木) 開会：10時00分 ・ 閉会：11時05分
開催場所	行田市役所2階 203会議室
出席者(委員)氏名	梁瀬里司委員長、小池利昌委員、吉田廣明委員、岡田時子委員、石井直彦委員、山崎孝子委員、
欠席者(委員)氏名	横田康介委員、坂西哲委員
事務局	商工観光課：森原秀敏課長、近藤隆洋観光戦略推進幹、多田英則主幹、関口達也主査、鈴木健太主事
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委員長選任</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 平成29年度 事業報告について</p> <p>(2) 平成30年度 上半期事業報告及び下半期事業計画について</p> <p>(3) その他</p> <p>5 閉 会</p>
会議資料	(資料名・概要等) 平成30年度 行田市観光委員会次第ほか
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開 会
森原課長	2 あいさつ
事務局	3 委員長選任 事務局案として、梁瀬委員を推薦するが、異議はないか。 異議なし
梁瀬委員長	委員長を務めさせていただく。 また、委員長代理として小池委員を指名する。
事務局	4 議 題 これより議題に入るが、議事の進行は梁瀬委員長にお願いする。
梁瀬委員長	（１）平成２９年度 事業報告について、事務局へ説明を求め る。
事務局	<p> 昨年の事業については、４月１日に水城公園桜ボンボリまつり、 ４月１７日に行田春まつり、５月４日にさきたま火祭り、７月９ 日に行田蓮まつり、７月２９日及び３０日に行田浮き城まつり、 １０月下旬から１１月中旬まで行田市菊花展、１１月２３日にぎ ょうだ“夢”まつり、１２月６日に行田西の市、大晦日から元旦 まで行田ゆく年くる年を開催した。 </p> <p> なお、８月１６日に開催を予定していたとうろう流し納涼大会 については、荒天による忍川増水に伴い中止となった。 </p> <p> 上記のうち来場者数が最多なものは「さきたま火祭り」で約８ ０，０００人、次いで「行田浮き城まつり」の約６０，０００人 </p>

であった。

また、水城公園桜ボンボリまつりについては、雨天に伴い大茶会のみ実施することとなったため、例年より少ない500人の来場者数となっている。

その他の事業について、一つ目に、外国人に向けた効果的な情報発信を行うため、平成29年3月から外国人向けマンガアプリを作成、配信した。配信情報は、行田を知らない外国人に、来訪意欲を醸成するきっかけづくりの一助となる内容となっている。平成29年度は、作成したマンガアプリの維持管理と併せて、新たにマンガアプリの配信を行った。こちらは、田んぼアートやグルメ、伝統産業をテーマとしており、計48コマのストーリーとなっている。

二つ目に、外国語観光ボランティアガイド育成事業として、ボランティアガイドを継続している方を対象に実地研修を行い、質の高いガイドを行うための知識を深める研修を実施した。このほかにも講座を実施しており、こちらは平成29年7月に市報による募集を行ったところ、6名の応募があり、8月下旬から10月中旬まで、計5日間実施したものである。

なお、平成30年10月1日現在、行田外国語観光ガイドボランティア会の会員数は10名である。

次に、主要な統計データについてであるが、全体の特徴として、古代蓮の時期に観光客が増加傾向にある。観光協会ホームページのアクセス件数については、ドラマ「陸王」の放映に伴い11月と12月に激増している。

梁瀬委員長

ただいま事務局から説明があった。質疑等があれば発言願いたい。

石井委員

インバウンド関連事業について、事業の実績把握を目的とした

事務局	<p>外国人観光客数の統計はとっているのか。</p> <p>統計としては現在とっていない。埼玉県全体の外国人観光客数は約150万人であるが、正確な数値でないと伺っている。参考として、郷土博物館においては年間約1,000人から1,500人の外国人観光客が訪れているとのことである。</p>
石井委員	<p>各種事業を実施するにあたり、目的が達成されているかを明確にすることが重要と考えている。</p> <p>そのような中、外国語観光ガイドボランティア会の方へ現状についての聞き取り等をしているのか。</p>
事務局	<p>月ごとの事業報告をいただいているが、行田の認知度がまだ高くないことや、日本人の友人と共に市内観光をする傾向が強いという現状から、月に2、3件ほどの活動数である。</p> <p>現在は、外国語観光ガイドボランティア会を絡めて事業を行うなど、より効果的な活用に向けて協力いただいている。</p> <p>外国人観光客についての正確な数値の把握は困難であるが、傾向については調査が可能であるため、外国人に限らず、可能な範囲で傾向を調査できるよう進めていきたいと考えている。</p>
石井委員	<p>目標を常に高く意識して事業を実施してほしい。また、昨年度、観光案内所の利用者数が15,168人であるが、利用者へのアンケートを取っているのか。</p>
事務局	<p>観光案内所では取っていないが、行田市で行われたコスプレイベントにおいて、簡単ではあるがアンケート調査を実施した。</p>
山崎委員	<p>マンガアプリについて、ダウンロード数等について教示いただ</p>

<p>事務局</p>	<p>きたい。</p> <p>こちらのアプリは英語や中国語での閲覧が可能であるが、様々な自治体のPRマンガが配信されており、その中から行田市のマンガを選択し、画面をスクロールしながら閲覧していただくというものである。</p> <p>アプリ自体のダウンロード数は累計41万ダウンロードで、内7割が外国人であるが、アプリの中に配信された行田市のマンガのみの閲覧数についてはカウントが難しいのが現状である。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>マンガも良いが、イラストでなく実写の方が迫力もあり伝わりやすいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>実写については、外国語観光ガイドボランティア会が自主制作した英語ナレーション付のPR動画を提供いただいております、都内で開催されたツーリズムEXPOジャパンにおいて動画を流すなどしてPRに役立てている。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>平成27年9月に古代蓮会館の来場者数が急増しているが、要因について教示願いたい</p>
<p>事務局</p>	<p>田んぼアートがギネスワールドレコーズ™に認定を受け、メディア等に取り上げられたことによるものと思われる。</p> <p>また、平成28年7月の急増については、ドラゴンクエストをテーマとした田んぼアートの見頃が蓮の開花と重なり、増加したものと認識している。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>傾向として、冬季の古代蓮会館来場者数については、少ないところであるが、売店の実績がさほど少ないため、会館の中に</p>

	<p>入る観光客が少ないと考えられる。</p>
事務局	<p>冬場は、目玉となるものが無く、指定管理者においても努力しているが、なかなか難しいのが現状である。</p> <p>売店については、常連の方など、定期的に利用される方も多いためだと思われる。</p>
小池委員	<p>平成29年度は前2年と比べて増加が少ないが、どのように分析しているのか。</p>
事務局	<p>平成28年度の田んぼアートの方が、より幅広い世代に興味を持っていただける図柄であったことや、猛暑により稲の発育に影響があったことによるものと考えている。</p>
石井委員	<p>各種統計データについて、来場者数や売上などは資料にあるが、費やした費用などは資料に載せることが出来ないのか。</p>
事務局	<p>資料に記載はないが把握している。しかし、売店の費用については把握できていない。</p>
石井委員	<p>売店の運営について、行田市の中の部署で確認をしたら良いのか。</p>
事務局	<p>都市計画課である。</p>
石井委員	<p>ぶらっとぎょうだの売上については資料にあるが、費用や粗利益について教示いただきたい。</p>
事務局	<p>売上の報告はあるが、粗利益等については報告を受けていない。</p>

石井委員	<p>人件費について、平成28年度と平成29年度の変化はあるのか。</p>
事務局	<p>変化はない。</p>
石井委員	<p>観光客やボランティアガイドの数が増えるというのは、良いことであり、これらの実績が経済に結びつくような事業の工夫を、絶えず続けていただきたいと考えている。</p>
梁瀬委員長	<p>(2) 平成30年度 上半期事業報告及び下半期事業計画について、事務局へ説明を求める。</p>
事務局	<p>今年度の上半期事業については、5月4日にさきたま火祭り、7月8日に行田蓮まつり、7月28日及び29日に行田浮き城まつりを実施した。4月15日の行田春まつり、8月16日のとうろう流しについては、荒天のため中止となった。</p> <p>その他、本市で進めているインバウンド対策事業について説明する。</p> <p>はじめに、台湾人ユーチューバーを活用したYouTubeへの動画配信である。内容については、台湾人ユーチューバーが忍城や足袋蔵等を回遊し、市内を紹介するもので、10月27日に配信された。</p> <p>次に、外国語観光ガイドの育成であるが、外国語を話せる方を新たに観光ガイドとして募集、育成するものであり、今年度は5名の応募があり、実地を含めた研修を行っている。</p> <p>次に、平成28年度から運用を開始している市内観光周遊アプリの維持管理のほか、日本遺産の認定を機に新たなコンテンツを追加し、足袋のまち行田のイメージ醸成を図っている。</p>

<p>梁瀬委員長</p>	<p>今年度の下半期事業については、10月下旬から11月中旬まで行田市菊花展、12月6日に行田酉の市、大晦日から元旦まで行田ゆく年くる年を予定している。</p> <p>ただいま事務局から説明があった。質疑等があれば発言願いたい。</p>
<p>小池委員</p>	<p>昨年も意見をしたが、レンタサイクルについて、3人乗り自転車の需要が無いように感じるが、撤去してはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年意見をいただいた後、3人乗り自転車を数台残し、その他はすべて前籠を外し、2人乗りとして転用している。</p>
<p>石井委員</p>	<p>イベント来場者数の増減について、火祭りなどは実際の来場者の数と合致しないように感じるが、どのように積算しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>火祭りについては、市でなく主催者である実行委員会から来場者数の報告を受けている。</p> <p>明確な資料などはないが、積算方法については、一定の範囲内の人数を基に、経過時間や面積を乗じるなどの方法により算出していると伺っている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>浮き城まつりについて、来場者数が昨年の60,000人から35,000人に減少しているが、市から補助金を交付しているという観点からどう考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、補助金はさきたま火祭りと同様に2,500,000円交付している。</p> <p>市からの支援について、火祭りにおいてはシャトルバスの誘導</p>

	<p>等、浮き城まつりにおいては交通整理の補助等にとどまっており、基本的な企画運営は実行委員会の主導で行われている。</p> <p>なお、浮き城まつり来場者数の減少については、台風の通過に伴い28日の前夜祭が中止となったことに起因するものである。</p>
梁瀬委員長	台湾人ユーチューバーの活用事業について伺いたい。
事務局	<p>本事業は、ユーチューバーの阿倫^{あらん}氏による市内回遊動画をY o u T u b e へ配信しているが、阿倫^{あらん}氏が持つチャンネルは現在約29万人の登録者があり、今回配信した動画は、11月15日現在30,791回再生されている。</p>
梁瀬委員長	外国語観光ボランティアガイドの対応言語について教示いただきたい。
事務局	中国語を話せる会員もいるが、アジア圏の方については英語を話せる傾向が強いこともあり、英語を基軸としている。
小池委員	来場者数について、統一した算出方法を各主催者へ促してみてはどうか。
事務局	統一した方法で算出することが望ましいため、各実行委員会との調整も含め検討していきたいと考えている。
梁瀬委員長	(3) その他について、報告事項等があれば発言願いたい。
事務局	本日欠席されている坂西委員より、各委員へ資料を配布したいとの要望があり、資料を預かっているため、配布させていただく。
	5 閉 会